

令和7年度



松江市立皆美が丘女子高等学校

第1回 学校運営協議会

1 日 時 令和7年5月26日(月) 10:00~11:00

2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室

- 3 会 次 第
- (1) 学校運営協議会委員委嘱
 - (2) 開会のことば
 - (3) 校長挨拶
 - (4) 協議
 - ① 会長、副会長の選出
 - ② 学校運営方針等について
 - ③ その他
 - (5) 委員の皆さまからの質問、提言等
 - (6) 校長挨拶
 - (7) 閉会のことば

令和7年度第1回学校運営協議会参加者一覧

(敬称略)

氏名	備考
委員 池田 太持	4年目 朝酌公民館館長
委員 大谷みどり	4年目 島根大学大学院教授
委員 高橋 泰道	1年目 島根県立大学教授
委員 樋ヶ 通子	1年目 PTA 会長
委員 二木 春香	1年目 株式会社 COME TREES 代表取締役
校長 多々納雄二	
教頭 山中 清恵	
事務長 糸川 健治	
総務主任 飯塚 美加	

協議

1 会長、副会長の選出

会長 _____

副会長 _____

令和7年度 松江市立皆美が丘女子高等学校 学校経営計画

1 校訓

より広く より高く (平成15年制定)

より広い心と、より広い視野や知識をもとに、より高い志を抱き、個人の人格をより高めていくよう努力しよう

2 スクール・アイデンティティ

自立 創造 共生

【R6・R7 追記】 + 「より麗しく よりしなやかに」

立ち居振る舞いの点で「麗しさ」、柔軟性や打たれ強さの点で「しなやかさ」を身に付けよう

3 本校の使命(スクール・ミッション)

松江市立の女子高等学校として、地域社会に開かれた教育活動を通じて、松江への愛着とグローバルな視点で夢を実現し未来を切り拓く力を培うとともに、松江市の未来の創造に参画するリーダーを育てる。

(令和5年3月20日松江市教育委員会より 再定義通知)

4 育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ① 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒
- ② ホスピタリティ精神に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で相手を慮ることができる生徒
- ③ 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解し、他国の文化を尊重し、社会をよりよくするために行動することができる生徒

R6～【伸ばしたい資質・能力、整えたい体験や披露の機会】

圧倒的な パフォーマンス(P)・ホスピタリティ(H)・コミュニケーション(C)

5 めざす学校像

生き生きと生徒が自らを伸ばし、広い視野に立って社会に貢献する力を培う学校

①「Challenge を育て Challenge で育てる学校」

R6～【推奨する支援体制・環境】 Cha,Cha,Cha を、// で、応援・支援
Challenge(挑戦) Chance(機会) Change(変革) Chase(追求) Chat(対話)

②「安全で安心な学びの環境づくりを、生徒・教職員で共創する学校」

R6～【生徒・教職員が一体となって取り組みたい、最重点目標】
環境美化、持ち物管理、公共スペースの保全等、P・H・Cの圧倒的向上をめざした取組

③「アイに満ちた学校」

R7～(新)【学習・生活・活動全般で】 自立(I)・協働(~合い)・慈愛(love)
友や他者と共に、自分自身を大切にしながら、励まし、高め合い、友愛の中で生活しよう

6 めざす教員像

- ① 人権感覚を磨き、チームの一員としてホスピタリティ精神をもって安全・安心な学校づくりを推進できる教職員
- ② 新しい教育の動きを踏まえ、自らの資質を高めようと学び続ける教職員
- ③ 社会人としてのロールモデルとなる教職員

R6～【生徒・教職員ともに 推奨したい姿勢】

スイコウ:推考(落ち着いて思考)・推敲(立ち止まって修正)・遂行(あきらめず達成)

7 教育目標

- ① 主体的な学びを促す教育の推進
 - ・学習習慣を確立させ、基礎基本を定着させる
 - ・「出会う」体験を通じて視野を広げ、学びを深める
 - ・「為すこと」と「学ぶこと」をつなぎ、協働して課題解決をめざす力を育成する
- ② 規範意識の醸成と基本的な生活習慣の確立
 - ・社会人基礎力としての規範意識・生活習慣を確立する
- ③ 国際教育・英語教育の推進
 - ・グローバル社会を逞しく生きるコミュニケーション力を育成する
 - ・語学の学びを踏まえたグローバルな思考力・表現力を育成する
 - ・物事を多面的に考え、多様性を受け容れる力を育成する

8 重点目標

- (1) 自他を尊重し、互いの成長を認め合う教育活動の推進
- (2) 確かな学力の定着・伸長と、考える授業・表現する授業の展開
- (3) 普通科、国際コミュニケーション科それぞれの特性を生かしたキャリア教育の推進と進路実現
- (4) 探究型学習の推進
- (5) 部活動、生徒会活動、ボランティア活動への積極的な取組
- (6) 高専連携、高大連携の推進
- (7) 地域、PTA、同窓会等との連携と、活発な情報発信

9 改革推進項目

- (1) 基礎学力の伸長
 - ① 授業に向き合う姿勢の共通理解 … 学び方を学ばせる指導
(授業に係る女子高スタンダードルールの確立と遵守推奨)
 - ② 思考力・表現力につながる読書活動の推進
 - ③ 生徒にとって面白く発見のある授業の研究 + ICT 活用
- (2) 品位あるふるまいの育成
 - ① TPO を自覚したふるまいの育成
 - ② 互いに気持ちよく過ごすための言動の育成
(言動・ふるまいに係る女子高スタンダードルール・マナーの確立と遵守推進)
- (3) 卒業時を見通した教育活動のデザイン
 - ① ルーブリックをベースにした育成型評価の実施
 - ② 探究型学習と教科学習の往還
- (4) 働き方改革の推進
 - ① 各種アンケート等の分析に基づく、指導の在り方の検討・改善
 - ② ICT 機器を活用した業務改革の推進
 - ③ 分掌・教科の枠にとらわれない、連携・協力に基づく業務遂行
(職員間での「手伝って」「手伝おうか」の伝え合える関係性構築)
 - ④ 事務部の協力による、助け合いを通じた教員負担の軽減

【R6・R7~の挑戦】(検討・試行を含めて)

1. 魅力化の推進及び外国語教育の更なる充実

- ・コーディネーター2人体制での連携推進
(担当割:地域連携・高大連携)
- ・ALT(3名、内1名常駐)の効果的活用
- ・関西の外国語大学等でのキャンパス体験充実
- ・海外友好都市(杭州・晋州等)との交流会実施

2. よりよく「学ぶ・働く」環境の整備

- ・時間割固定化(変更廃止等)の試行
- ・定期試験の設定(卒業試験等の可否)検討
- ・補習等の在り方(個別指導、平日補習等)検討
- ・清掃活動の効果的実施の検討継続

3. キャリア教育の観点の重視

- ・「知る、かかわる、つながる、活かす」取組励行
- ・効果的な体験機会の創出
(2年生校外学習・インターンシップの複数日間実施の検討等)
- ・進路実現につながる学習の推進

4. 言葉による表現・伝達の重視

- ・「～ない」より「～よう」を推奨
- ・印象的な、心に残る言葉の工夫
- ・機に応じたスローガンの提示と反復
- ・生徒発表(プレゼン)時における、「伝えたい」
思いの伝わる表現方法の伝授と推奨

5. 女子高ならではの魅力の構築と発信

- ・特長や強みを活かす工夫
- ・中学生等への効果的な広報

6. R8 年度以降の再々編に向けた入念な準備

- ・中学生や地域への積極的な広報
- ・カリキュラム等の体制整備

【R7 年度 生徒・教職員共通テーマ】

1. 女子高スタンダードルール・マナーの確立と遵守の奨励

(※みだしなみ・言動・ふるまい・姿勢等の全般)

2. 安全で安心な学びの環境づくりの共創

(※環境美化、持ち物管理、公共スペース保全等)

3. 伝えることを諦めない、P・H・C の前傾姿勢推奨

(※前向きな言葉を遣り合う良好な人間関係構築)